



2026年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング
代表者名 代表取締役社長 北山 雅一
(コード番号：3965 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理本部担当 青木 浩一
(TEL. 06-4796-5666)

通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当） 及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年12月16日に公表しました2026年9月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。また、本日開催の臨時取締役会において、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議するとともに、2026年3月24日に公表しました期末配当予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年9月期通期連結業績予想の修正

(1) 2026年9月期通期（2025年10月1日～2026年9月30日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,300	百万円 630	百万円 630	百万円 410	円 銭 71.39
今回発表予想 (B)	10,300	730	735	465	80.86
増 減 額 (B-A)	0	100	105	55	—
増 減 率 (%)	0	15.9	16.7	13.4	—
(ご参考) 前期実績 2025年9月期	9,689	530	535	401	69.97

(2) 修正の理由

当中間連結会計期間につきましては、生命保険会社向けの売上が大型プロジェクトの継続や新規案件の受注により堅調に推移したことに加え、メガバンク、ネット銀行向けのシステム開発業務が拡大するなど、受託開発が好調でした。一方、労務費・外注費や販売費及び一般管理費は売上高の増加率を下回る水準に抑制することができたため、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも中間連結会計期間として過去最大となりました。

通期連結業績予想につきましては、売上高は前期売上高に対し6.3%増の10,300百万円と前回発表予想額を見込む一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、当中間連結会計期間の業績や今後の開発工程の生産性向上、経費削減の取り組み効果等を総合的に勘案した結果、前回発表予想を上回る見通しとなりましたので、上記の通り修正することといたしました。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年3月24日公表)	前期実績 (2025年9月期中間)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	10円50銭	同左	8円50銭
配当金総額	60,454千円	—	48,842千円
効力発生日	2026年6月5日	—	2025年6月6日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2026年3月24日発表)	10円50銭	9円50銭	20円00銭
今回修正予想	—	10円50銭	21円00銭
当期実績	10円50銭	—	—
前期実績 (2025年9月期)	8円50銭	9円50銭	18円00銭

（3）修正の理由

当社は、企業価値の継続的な向上が最も重要な株主還元と考えています。剰余金の配当金額につきましては、配当原資確保のための収益力向上を図り、中長期的な事業発展のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元に積極的に取り組んでいく方針です。中期経営計画の期間（2024/10/1-2027/9/30）においては、配当額の維持もしくは増配を基本方針として配当性向20～50%程度を目処に利益還元していく予定であります。

この方針に基づき、2026年9月期の中間配当は2026年3月24日に公表しました配当予想通り1株当たり10円50銭といたします。期末配当につきましては、本日公表の通期業績予想の修正により親会社株主に帰属する当期純利益が増加する見通しとなったことに伴い、前回予想から1円増配し1株当たり10円50銭に修正することといたしました。これにより、年間配当予想は1株当たり21円と前回予想から1円、前期実績から3円の増配となる見込みです。

（注）上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上